

【日時】平成26年5月26日（月）10時～11時

【場所】以下の5拠点によるスカイプ会議：岩手医科大学：城教授室、北海道医療大学：越野教授室、昭和大学：1号館502号室、金沢電子出版株式会社、株式会社ピコラボ

【出席者】城教授（岩手医科大学）、豊下講師（北海道医療大学）、弘中教授、美島教授、片岡教授、乾事務員（昭和大学）、佐藤様（金沢電子出版株式会社）、鈴木様（株式会社ピコラボ）

議事内容(案)

1. 第18回ITを活用した教育センター会議議事録を確認した。(資料1)
2. 各WG ワークショップ準備進捗状況
 - 1) 3年生の授業準備
 - (1) WG1：事前学習課題と当日配布資料は修正した。患者（三症例）の間診風景は次回教育センター会議（6/16）までに作成予定である。
 - (2) WG2：問診および歯科診療中に患者の具合が悪くなるビデオ（2種類）の製作を終了した。問診に関するe-ラーニング課題（含到達度評価試験）を飯島先生中心に作成する（6月26日まで）。

既に実施された授業（北海道医療大学 草野先生の講義（4/10（木））及び昭和大学 飯島先生のビデオを使用した授業（4/16（水））の内容とアンケート結果及び改善点について、次回教育センター会議で報告することとした。
 - (3) WG3：スライドの修正と講義の最後に行なうまとめテストを採点ができる穴埋め形式（プルダウン）などに修正する件に関しては、6月より修正を開始する。次回教育センター会議で報告予定である。
 - (4) WG4：関連する国試問題の追加については、ピックアップ作業は完了しており、e-ラーニング教材とする。学生へは解答の正誤のみ表示される。復習課題に関しては、前回のWSで議論できなかったためWGメンバーに確認の上、追加を検討する予定である。
 - 2) 4年生の授業準備
 - (1) 各WGの進捗状況
 - ① WG1：シェーグレン症候群を題材に問診の内容を元にVP教材のブラッシュアップを進めている。(担当：鎌谷先生)
 - ② WG2：VP作成の担当は不整脈が城教授、糖尿病は草野講師が担当し、5月中に完成予定である。症例写真の選定は完了している。e-ラーニング教材の解説資料も2課題について作成しており、6/13までに完成予定である。e-ラーニングコースの問題の作成は6月26日のWSまでに完成する。いずれもWSでブラッシュアップする。到達度が評価できるような問題も作成する。
 - ③ WG3：VP問答集は完成している。リハビリのビデオに関しては、昭和大学保健医療学部から脳卒中のリハビリを借りる予定である。習熟度がわかる「まとめテスト」を追加する予定である。今後は対話の精度改善を行なう予定である。保健医療学部ビデオを本事業で利用して問題ないか確認して欲しい旨依頼があった。
 - ④ WG4：VPの脳梗塞患者症例の想定問答集は来週には完成する予定である。対診書の作成

について、金沢電子出版 佐藤様にプロトタイプを作成を依頼中である。

(2) その他：VP の課題終了後、授業の最後に学生の到達度をはかる「まとめテスト」については必ず実施して欲しい旨確認をした。また、授業の重要な点については授業終了後、自宅でも学習出来るように「復習課題」の設置を検討して欲しい旨依頼をした。

(3) 各大学の授業日程について：各大学のオリエンテーションでどのような内容を行なうか、自宅でも実施か大学で実施するかも含め次回センター会議までに案を作成して欲しい旨依頼があった(担当：ピコラボ)

- 昭和大学のトライアル学生の募集はスケジュールの都合上難しいため、オリエンテーション実施時に自宅での学習状況をモニタする予定である。
- 岩手医科大学：夏休み期間中に D5 か D6 学生をピックアップして実施する予定。オリエンテーションと同様にピコラボに支援を依頼する。
- 北海道医療大学の講義日程についてはまだ調整中である。北海道医療大学での学生トライアルの実施については越野先生に確認を行なう。

(4) Skype 打合せ：VP の症例作成についてピコラボ鈴木様より症例の改善について各 WG に Skype 打合せについて依頼があった。(資料 2) 教育センターより、打合せの議事メモを教育センター事務局に報告するように依頼した。

平成 26 年度授業日程案を次回教育センター会議で確認することで合意した。

3. 第 5 回 IT を活用した教育センターWS (6/26 (木)) タイムスケジュール案について確認した。(資料 3)

<セッション 1> 「大学教職員セッション「IT を活用した授業の準備と運用について」

ー 標準的な「準備と運用ガイド」の策定 ー」については、e-ラーニングについて Active learning と能動的・双方型の授業についてガイドラインを作成する。

<セッション 2> 「e-ラーニングを活用した能動的・双方向型標準的授業を模索する」については、歯科医師会の先生方にも参加していただき、模擬授業を見て意見をいただく。

<セッション 3> 「平成 26 年 3 年生：超高齢社会の到来に対応できる歯科医師になるために必要な基礎知識の修得を図る授業の最終点検」については、最終的に授業で用いる教材を最終点検する。

<セッション 4> 「平成 26 年 4 年生：超高齢社会の到来に対応できる歯科医師になるために臨床推論能力の修得を図る授業を構築する」については、今年度の授業内容について確定できるようにする。

4. 第 2 回 e-ラーニングセミナー案について説明があった。(資料 4)

セミナー参加者の事前練習コースは 6 月初旬に公開予定である。

5. 歯科医学教育学会の準備について説明があった。

4 題がポスター演題として採択された。フォーマットを教育センターで作成し、内容は各 WG の先生方に考えていただくことで了承された。片岡教授の演題 その 1 (全体総括) を例として提示する。各 WG のポスターは 6 月 16 日までに提出をお願いした。

6. その他：診療で得られた情報を歯学教育に用いることについての同意書を作成する。

次回開催予定：第 20 回 IT を活用した教育センター会議 (第 5 回 IT を活用した教育センターWS 予演会) 6 月 16 日 (月) 10 時 00 分 ~ 11 時 30 分

以上

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業
「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」
第 18 回 IT を活用した教育センター会議 議事録

【日 時】平成 26 年 4 月 23 日 (水) 9 時 30 分 ~10 時 30 分

【場 所】以下の 5 拠点によるスカイプ会議：岩手医科大学：城教授室、北海道医療大学：越野教授室、昭和大学：1 号館 502 号室、金沢電子出版株式会社、株式会社ピコラボ

【出席者】城教授（岩手医科大学）、越野教授、豊下講師（北海道医療大学）弘中教授、美島教授、片岡教授、乾事務員（昭和大学）、佐藤様（金沢電子出版株式会社）、鈴木様（株式会社ピコラボ）

————— 議 事 内 容 (案) —————

1. 第 4 回 IT を活用した教育センターワークショップ（開催日：3/27（木））
 - 1) 第 4 回 IT を活用した教育センターワークショップアンケート集計結果について説明があった。（資料 1）
 - 2) 各 WG の D3,D4 授業準備進捗状況について報告があった。
 - (1) 連携大学 3 年生に対する IT 教材を活用した教育授業準備
 - ① WG 1：事前学習課題と当日配布資料の改善については、グループ内でまとめた具体案を参考に、3 月中に昭和大学の美島先生が資料の修正をする。美島先生が平成 26 年度の e-ラーニングを修正する。
授業の最初は学生に考えさせるために自由記載にするが、授業の効果と学生の到達度を明確にするために、まとめテストは採点ができる穴埋め形式で、各大学に問題の作成を依頼中である。症例数は三つを予定しており、使用する写真及びインタビュー風景は各大学で収集を行ない、次回 WS までに提示できるよう依頼している。
 - ② WG 2：作製した歯科診療中に患者の具合が悪くなるビデオ（4 種類）の確認と授業実施についての検討を行った。
北海道医療大学 草野先生の講義（4/10（木））及び昭和大学 飯島先生のビデオを使用した授業（4/16(水)）の報告を確認後、ブラッシュアップを行なう。
 - ③ WG 3：スライドの修正と講義の最後に行なうまとめテストを採点が難しい自由記述から採点ができる穴埋め形式あるいはプルダウンなど選択式に修正する。作業については、昭和大学 弘中先生、勝部先生が分担し修正等を行う。
 - ④ WG 4：改善点：WS で出た変更点はほぼ修正が完了した。関連する国試問題の追加は問題を確認中である。コンテンツについて以下の点を改善する。
 - ・ 2013_WG4-01_exer-03 復習 / 小テスト 2013_WG4_quiz-02 復習テストの解答方法が穴埋め方式に変更されていなかったため、変更をする。
 - ・ 2013_WG4-02_lect-01 解説 / 2013_WG4_page-05 高齢者に多い疾患の

有病者率について「有病者率」を「有病者数」に変更する。

- ・ コンテンツの最後に、授業内容に関連する国家試験問題を追加する。
- ・ 4月中に修正案の e-ラーニング化を金沢電子出版へ依頼（担当：越野先生）
- ・ 4月下旬までに該当する試験問題をピックアップし、追加コンテンツの e-ラーニング化を金沢電子出版へ依頼（担当：豊下先生）

(2) 連携大学4年生に対するIT教材を活用した教育授業準備

① WG1：昭和大学 鎌谷先生担当。問診形式の中で過不足なく勉強できるよう再構築を検討している。6月までに1つの症例を完成させる予定。

- ・ 問診・検査の流れについて
問診して検査を選択し、その結果から検査を再度選択できるようにする。
(担当：ソフト開発会社)
- ・ 検査データの表記について
正常値を提示するようにする。(担当：鎌谷先生)
- ・ 症例を単純なものにする。
薬の副作用など考える必要性を省くために、内服薬はなしとする。(担当：鎌谷先生)
- ・ 昭和大の担当者に改善点提出し、改善内容を委員がチェックするようにする。

② WG2：各委員でVPの問答表ブラッシュアップを行ない、VPコンテンツの完成をめざす。

- ・ 3年生で全身疾患の学びの必要性を理解
↓
4年生でVPを用いて講義を行う〈講義の概要〉
- i.) 全身疾患について概要 (e-ラーニング)
全身疾患：不整脈・狭心症・糖尿病・喘息・脳梗塞・高血圧など
- ii.) 医療面接時における、各疾患に対する質問と回答を学ぶ (講義)
- iii.) VPを用いて医療面接を学ぶ (VPシステム)
問診票を紙ベースで製作し、学生はこの問診票に従って医療面接を行ってもらう
- iv.) フィードバック (講義)
- ・ VPを用いた講義の準備
それぞれの疾患に関する想定問答集の充実と完成を進める
- ・ 主訴に関連した質問に対し回答がでないものをリストアップし、回答を製作する
- ・ 完成後、各大学で一度VPのトライアルを実施する。

③ WG3:GW頃を目安にVP問答集とD4のe-ラーニング教材を作成する予定。

- i.) 脳卒中発症、即日手術となり術後 ICU へ入院。
ICU より口腔ケアの依頼を受ける。
課題① ICU での口腔内診査・口腔ケアに必要な情報を収集する。
⇒e-ラーニングによる依頼票の関する学習（5月中）
口腔内所見の開示（診察票の書式）
- ii.) リハビリによる機能回復
ビデオまたは写真によるリハビリ過程の供覧
- iii.) 退院前の歯科受診
課題② 退院時の患者のニーズを把握し、診療情報提供書（依頼書）を作成する。
⇒VP を用いた学習（5月中）
主訴：クラスプが破損しており、食事がとりにくい
→地域の歯科診療所に対して、クラスプの修理および口腔内管理を目的とした診療情報提供書（依頼書）を作成する。
（診療情報提供書または依頼状の書式）⇒情報提供書の記載例（見本）を提示して終了
- iv.) リソース講義
詳細は今後検討（6月中）。

④ WG4 :

前回のワークショップで打ち出された 3 連携大学 4 年生に対する IT 教材の方向性に従って検討したところ、シナリオが大幅修正になったため、それに沿った想定問答集を再度構築し、次回 WS までに反映させる。

- i.) 最終的な診断、処置と合致するよう食事時の疼痛を主たる主訴に変更することとなった。
- ii.) 安静時の血圧を 125/80mmHg とすることとした。
- iii.) 歯周組織検査の数値を、X 線写真と矛盾なく抜歯適応となるよう修正した。
- iv.) 可能であればデンタル X 線写真を追加する
- v.) 上記の変更点を踏まえ、想定問答集に修正を加え、5 月上旬を目途に修正発注を行う（担当：豊下先生）

(3) 授業準備状況について

① オリエンテーション日程の確保について

- 昭和大学：D4
9/2（火）オリエンテーション（30分程度）、9/30（火）授業開始
1ヶ月前に自宅でVP事前学習課題を行なう予定である。
- 岩手医科大学：
D3：9/22（月）オリエンテーション

10/2（木）1 限トライアル、2 限目より授業開始

D4：9/12（金）オリエンテーション、9/25（木） トライアル

10/2（木） 授業開始

- 北海道医療：D5 を想定。講義日程は未確定。授業開始 1 ヶ月前にオリエンテーションを行なう予定である。

② 7 月又は 8 月の夏休み期間中、トライアル学生を 3 連携大学の上級生より数名募集する。場所は各大学キャンパス 3 拠点で Skype を利用して行なう。日程は後日、調整を行なう。内容はビデオで撮影し、別日程の学生が閲覧出来るように編集する。

③ 事前学習課題は授業とは別に口腔乾燥またはチーム医療の VP を使ったミニ課題を作成することが望ましい。

2. 第 5 回 IT を活用した教育センターワークショップ（開催日：6/26（木））

1) 標準的な準備と運用ガイドの策定について

(1) 90 分授業における事前学習課題、e-ラーニングあるいは VP、リソース講義、復習課題等それぞれの時間配分を明確にする。

(2) 事前に作成するものを明確にする。(事前用教材、授業用教材、復習用教材等)

2) VP 授業の準備について、次回ワークショップに向けた工程表の説明があった。(資料 2)

3. e-ラーニング教材セミナーの開催について

1) 第 1 回 e-ラーニングセミナーアンケート集計結果について説明があった。(資料 3)

2) 第 2 回 e-ラーニングセミナーの内容について

(1) 第 1 回セミナーの内容を事前に e-ラーニングで復習・履修させる。

(2) 下記二部構成とする。

第 1 部：Active learning：受け身の講義から能動的・双方向型の授業へ

第 2 部：知識の定着をはかる

(3) 口腔乾燥症または、口腔内科コースより 30 分程度抜粋。

多肢選択問題、穴埋め問題は必須項目とする。

4. 歯科医学教育学会の演題登録

1) 抄録 1～4 について確認した。(資料 4)

学会で 3 大学連携懇親会を開催する。

5. e-ラーニング教材における著作物引用に関してラーニング教材の著作権について

金沢電子出版の佐藤氏より検討すべきとの指摘があり、これを受けて本事業においても、今後以下の内容を検討していくことが了承された。

1) 授業中に印刷資料を配布するのであれば多くの場合、著作権法の第 35 条が適用されるため問題ないと考えられるが、3 連携校と関連歯科医師会共同でオンライン教材を開発する場合は、著作権を十分に考慮して教材を作成すべきである。従って、今後作成する e-ラーニングコンテンツに対して、どのように対応していくかを検

討する必要がある。

著作権に抵触するおそれのある箇所への具体的な対応の例は以下のとおりである。

- ① イラスト等の問題となる箇所を削除して、可能な部分のみアップする
- ② イラスト等の問題となる箇所をオリジナルで再作成する
- ③ 利用許諾を得た上でアップする
- ④ 印刷物での配布を併用する
- ⑤ 一定のガイドラインを制定して、その範囲でこのままアップする
- ⑥ その他

上記に付帯する作業（確認，修正，許諾申請など）は、業者に委託することも可能である。

- 2) 9月スタートのD3授業コースに関しては、著作権を考慮した上で作成する。

次回以降の予定

第19回ITを活用した教育センター会議 5月26日（月）10:00～11:00

第20回ITを活用した教育センター会議 6月16日（月）10:00～11:30

以上

VP症例の作成 ～6月WSに向けて～

2014-05-26

株式会社ピコラボ

VP症例の改善ミーティング

- 6月WSに向けVP症例改善のSkypeミーティングを実施させていただきます
- 議題
 - 4月23日のSkypeミーティングの資料をご参照ください
- 候補日
 - 6/5 (木) 夕方以降
 - 6/19 (木) 夕方以降
 - その他, 水曜もしくは木曜の夕方以降
- ご参加いただきたい先生
 - 各WGのVP症例担当の先生

VP症例の利用予定の確認

- 各大学でのVP症例の利用予定日が決まりましたらお知らせください
 - 日程と利用する症例の情報
 - 事前学習等，授業前に利用する場合は期間も
- オリエンテーションやトライアルの日程が決まりましたらご連絡ください
 - その際に利用するVP症例についてもご相談させてください

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業 平成24年～28年度

昭和大学 岩手医科大学 北海道医療大学



ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成



第5回 ITを活用した教育センターワークショップ スケジュール

- 開催日：2014年6月26日(木)
 ■ 場所：昭和大学 旗の台校舎 1号館6階会議室

時間	テーマ	実施方法	担当	会場	
8:45~9:00	大学教職員集合・受付			1号館6階 会議室	
9:00~10:45	<セッション1> 大学教職員セッション 「ITを活用した授業の準備と運用について」 — 標準的な「準備と運用ガイド」の策定 —	全体会	片岡		
10:45~11:00	歯科医師会会員集合・受付	全体会			
11:00~11:10	開会式(学部長 挨拶, 自己紹介) WSの概要とスケジュール	全体会	片岡		
11:10~12:00	<セッション2> 「e-ラーニングを活用した能動的・双方向型標準的授業を模索する」	全体会	片岡		
12:00~12:50	昼食 ・ ディスカッション				
12:50~14:10	<セッション3> 平成26年3年生：超高齢社会の到来に対応できる歯科医師になるために必要な基礎知識の修得を図る授業の最終点検	グループ 討議	城		
14:10~14:50		全体会 発表5分 討議3分	城		
14:50~15:00	休憩				
15:00~17:10	<セッション4> 平成26年4年生：超高齢社会の到来に対応できる歯科医師になるために臨床推論能力の修得を図る授業を構築する	グループ 討議	越野		
		全体会 発表5分 討議3分	越野		
	事務系職員・IT企業の連絡会		片岡		1号館5階 カンファレンスルーム
17:40~17:50	閉会式、写真撮影、アンケート	全体会	片岡		1号館6階 会議室
18:00~19:00	情報交換会	全体会	井上		昭和大学旗の台校舎 6号館1階 生協食堂「アミ」

- 開催日：2014年6月25日(水) 17:30~19:00
 ■ 場所：昭和大学 旗の台校舎 1号館6階会議室

第2回e-ラーニング教材作成セミナー 講師：金沢電子出版株式会社 佐藤 伸平 代表取締役

<より魅力あるe-ラーニング教材の作成とe-ラーニングを活用した授業の実施方法>

目的:

1. Active learning：受け身の講義から能動的・双方向型授業へ
2. 知識の定着を図る

第2回 e-ラーニングセミナー

—e-ラーニングを活用した授業が目指すもの—

目的

1. Active learning: 受け身の講義から能動的・双方向の授業へ
 - 1) Flipped Classroom 事前学習→学生が考える→解説講義
 - 2) 学生の理解度を把握し、それに応じた解説講義を行う。
2. 知識の定着
 - 1) 授業後に、重要項目の知識の定着を図る。
 - 2) 反復学習の効果を測定する。 チャレンジテスト

内容

I. 目的1に対して

- 1) 授業例の設定
 - (1) 対象学年、ユニット D5 全身疾患と口腔内科 高血圧症
解説は省略し、正答のみ使う。
 - (2) 授業の長さ 30分 事前学習 国家試験演習 演習（リソース講義）復習テスト
- 2) e-ラーニングコースの準備
- 3) e-learning-ラーニングを活用した授業の流れを考える（授業設計）資料：授業設計
- 4) 事前学習 授業前に既習事項を整理する。（課題に取り組む）
- 5) 授業中の活用 課題に取り組む → 理解度を評価 → リソース講義
習熟度の評価
- 6) 復習課題 重要事項の反復・定着

II. 目的2に対して

演習試験問題（例：30題）の選択とコースの作成

- 1) 授業中に第1回模擬試験（演習試験問題）を実施
- 2) 正答率などを見て、問題毎の学生の習熟度を評価する。
- 3) 授業中にプリントを用いて、解説講義を実施（習熟度が低い問題を中心に）
- 4) 正答率が高い問題は除くあるいは難易度を調整し、正答率が低い問題については、類題を追加あるいは難易度を調整、選択肢の順序を変えて第2回模擬試験のコースを作成する。
- 5) 自宅学習のための復習問題と解説を作成する。
- 6) 自宅学習のためのチャレンジ問題を作成する。

第1回 e-ラーニングセミナーの復習用コンテンツ

(第2回 e-ラーニングセミナー前 およびセミナー後に何度でも履修できるようにする)

1. e-ラーニングの導入と利用の手引き
2. moodle 体験実習の手引き
 - 1) コンテンツ編集
 - 2) 解説ページの作成
 - 3) 資料をアップする
 - 4) 多肢選択問題を作成する
 - 5) 小テストを作成する